

ご存じですか？ 『ジェネリック医薬品』



国民健康
保険

■問合せ 国保年金課国保係 ☎029-885-0340(内)116

ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは、先に開発された先発医薬品（新薬）の特許が切れた後に、他のメーカーが同様に製造したものです。

先発医薬品と成分・品質・有効性・安全性が同等であるものとして認められたもので、先発医薬品の開発成果を利用できるので研究開発費が少なく済むため、価格（薬価）が低く設定されています。

ジェネリック医薬品をもっとよく知ろう

- ・一つの先発医薬品に対し、たくさんのジェネリック医薬品が販売されています。
- ・味やにおい、大きさ等の改善や保存性をよくする等、工夫された製品もあります。
- ・ジェネリック医薬品が製造されていない先発医薬品もあります。
- ・薬局に希望するジェネリック医薬品の在庫がないとき、薬を用意するのに時間がかかることがあります。
- ・病気や体質によっては、先発医薬品からジェネリック医薬品に変更できないことがあります。
- ・医薬品にかかる費用が安くなっても、患者さんの自己負担額が変わらないことがあります。

ジェネリック医薬品を利用するときは…

- ・ジェネリック医薬品を利用したい場合は医師や薬剤師に相談しましょう。
 - ・疑問点や不安な点がある場合には、薬の特徴等について納得がいくまで聞いて判断しましょう。
- ※国保加入者に「ジェネリック医薬品希望シール」を配布しています。保険証やおくすり手帳に貼ることで、ジェネリック医薬品の処方を希望しているという意思を医療機関や薬局に伝えることができます。ご希望の方は、役場国保年金課窓口までお越しください。



みほ文芸

正調俚謡 日和吟社 字結び「名・月」（一字以上詠み込み）

想いあれこれ彼岸の月は返しきれない父母の恩

雨の文月日照りの葉月耐えて実った美浦の米

類の涙の理由は聞かず孫娘に寄り添う秋月夜

あなたはどこかと名前を聞かれ明日は我が身の物忘れ

幾つ越えたか苦楽の月日支えられつつ夫婦旅

残暑厳しく眠れず庭へ集く虫の音夜半の月

俚謡の好月師として仰ぎ美浦の俚謡史名を刻む

酔いを醒ますにやほどよい風よ月も清かに虫時雨

俚謡日和の名吟辿りや我も「三」とる夢を見る

笑顔優しい少年棋士の二冠輝く名勝負

月の青さに酔い痴れ乍らそっと寄り添う散歩道

コロナ日本の祭りを奪う月のうさぎも浮かぬ顔

恋を語るにや程好い月夜そっと寄り添う影二つ

コロナ騒ぎに五輪の延期令和二年も早九月

コロナコロナで去り行く月日忘れられない「ねずみ年」

母に抱かれて眺めた月を今は曾孫を抱いて見る

月の光が夜露に落ちて秋を奏でるちちる虫

これで七度めまたねと孫と名残りつきないハイタッチ

木原古城のしろあと浮かぶ月はおぼろに霞んでる

美浦に満月魚や虫が光慕いて夜もすがら

九月の俳句（題 当季雑詠）

夕焼けや明日を思うは生きること

ソーダ水帽子を五つ持つ男

瓜漬けに甘唐辛子挟みけり

コンバイン黄金の波をつき進む

散歩道甘い香りの金木犀

頭たれ猛暑もうれし稲穂波

母を待つ子に葭切の鳴き猛る

空爆の夏は語らず逝きし友

小刻みに震えし枝葉萩の雨

かなかなや母の墓標の影ながく

新盆の妻笑む座敷湖青く

初秋の夕穂波渡りて陸平

入道雲出て一片の行方追ふ

齡問われ茗荷食べすぎ忘れたる

小園江久美

石戸葎華

山崎笑子

関根秀子

上野八千代

伊藤葉子

山岡亜子

門脇悠美

増尾青蓮

田島草実

飯塚筑風

長谷川悦子

篠原美千代

高橋一步

沼寄朋香

小池きよし

塚本夏雲

木村幸子

山岸錦洋

酒川夢花

（五十首題）

青野安佐子

石毛恵美子

市川紀行

海道民子

木澤はしめ

小林美佐恵

高柳幸子

田島早苗

中島輝子

長田敏笑

増尾尚子

松葉蝶駿

松葉よしる

松本秀子